

核実験に対する国会議員声明

政治的信条や国家を超えて、国会議員として、10月9日の朝鮮民主主義人民共和国による初の核兵器実験を行ったという宣言について、我々は憂慮の念を共有する。

この行動は、北東アジアの緊張を高め、地域的かつ世界的な拡散危機を増大させるものであり、核実験を終了し核兵器の禁止と廃絶に努力するという、北朝鮮、そして他の全ての国家の義務に反するものである。

これまでに、中国、フランス、インド、パキスタン、ロシア、英国、そして米国によって、2000回以上の核爆発実験が行われてきた。その一つ一つによって、環境は汚染され、平和は脅かされ、核軍備競争が加速されてきた。これ以上のいかなる国によるどのような核実験も不要である。

我々は、包括的核実験禁止条約(CTBT)の交渉、そしてCTBTに対するこれまでの圧倒的支援を歓迎する。また、この条約を批准していない数少ない国家、特に北朝鮮、中国、インド、イスラエル、パキスタン、そして米国といった核能力を持った国家に対し、条約の批准を求める。

また、我々は、北朝鮮が、朝鮮半島の非核化のため、また北東アジア非核兵器地帯の可能性を探求するため、中国、日本、韓国、ロシア、そして米国との6カ国協議に復帰することを要求する。6カ国全てに対し、お互いに対する武力行使の威嚇を含め、協議を頓挫させるようなこれ以上の挑発的行動を控えることを要求する。

我々は、包括的核実験禁止条約機構(CTBTO)が開発した、世界中どこにおける核実験も探知できる技術能力を備えた国際監視システムに勇気付けられている。そして、条約が発効し、いかなる条約違反においても遵守メカニズムが利用可能になることを期待する。

署名者：